

風向き に注意

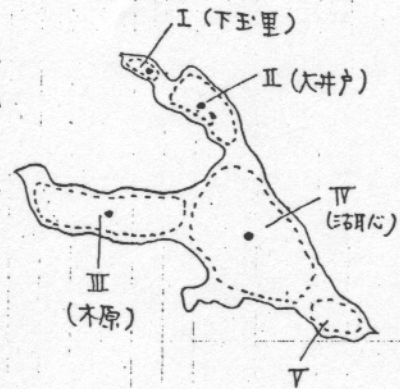
七月初めの台風以来、南の風が継続して吹き、一時期を除いては、養殖漁場の酸素状態は、極めて良好に推移したといえます。しかし、八月も末になつてくると、南の風は次第に少なくなり、代つて北寄りの風（北、北東、東の風）が多くなつてきます。霞ヶ浦、北浦では、北

寄りの風が吹くと、すぐに漁場内の酸素は低下し、酸欠になることは、皆さんも良くご承知のことと思ひます。これから、風向きに注意し、投餌も早目に切り上げ、なるべくして下さい。

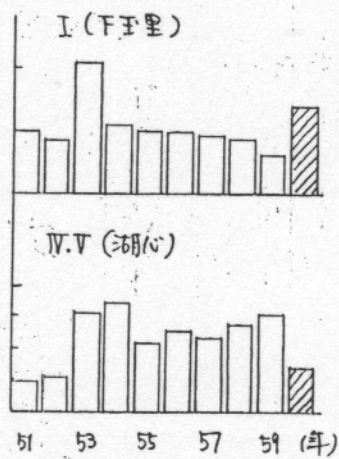
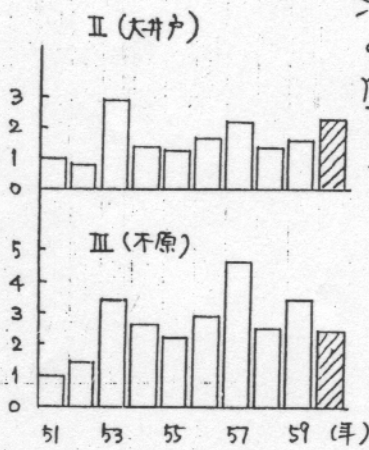
アオコは

少ないか？

今年、アオコの量が、例年に比べて少ないと、言う人が多いうようですが、どうでしょうか？
霞ヶ浦は、下の図のように、大きく五つの水塊に分けられます。



Iの水塊の八月の平均透明度を、下玉里地先の値で、IIは大井戸地先、IIIは木原地先、IVとVは湖心の値で代表させて、この水域の全アオコの量を、透明度から換算したのが次の図です。



五十一年を1.0とし、六〇年はまだ八月が終っていないので推定値です。南の風が多かった為か、湖心部に少ない反面、土浦入り、特に高浜入りに多く分布しているようです。霞ヶ浦全体をみたのが下図です。今年、五十八年とほぼ同じということになります。但し、これは一つの試算です。

